

【実施報告】出前講座「もしかしてそれは認知症のはじまり？」を開催しました。

◎講義後には多くの受講者から質問の手が挙がりました。また、講義内のクイズでは全員が正解され、健康への関心度の高さが伺えました。

🌸 開催概要

日時:2026 年9月1日(火) 9:40~10:40

会場:羽川南部公民館

対象:羽川南ふれあいクラブの皆さま(参加人数:24名)

📷 当日の様子



認知症看護認定看護師が講師となり、平均寿命と健康寿命のデータをもとに、加齢による「もの忘れ」と「認知症」の違いを解説。行動を観察する際のポイントとして、「以前の自分との比較をすること」の大切さが説明されました。また、MCI(軽度認知障害)の概要や、近年の認知症治療における変化についてもお伝えしました。講師の実体験を交えた話を通じて、これからも自分らしく元気に暮らすために「今日からできること」を考え、そして「これから」の人生を楽しむ大切さを受講者の皆さんにお伝えしました。

🗨️ 受講者の皆さまの感想(抜粋)

- ・加齢での「もの忘れ」と認知症の「もの忘れ」の違いを教えていただき、よくわかりました。
- ・生活に支障が出ている状態が認知症で、その中にはアルツハイマー型認知症などがあり、特徴ごとにいろんな型の認知症があることが分かった。
- ・新しい治療薬などを教えていただき、少し気分的に楽になりました。
- ・認知症について気付くこと、知ること、相談することを心がけ、今日からできることを考えるようにすることを教えていただき、大変勉強になりました。ありがとうございました。

🗨️ 病院より

・多くの皆さまにご参加いただき、真剣に耳を傾けてくださっている様子が印象に残りました。また、講義後にはたくさんのご質問もいただき、認知症や健康づくりについて関心を持っていたことを大変嬉しく思いました。今回の講義で認知症について正しく知り、自分自身やご家族の変化に気づくきっかけになったのではないかと思います。

貴重な機会をいただき、ありがとうございました。